

2024年度 事業報告

(2024年4月1日～2025年3月31日)

2024年度の概況

2024年度の助成事業については、音楽分野および地域の伝統文化分野ともに計画どおりに行なうことができた。

音楽分野においては、例年どおり対面で実技・面接による海外音楽研修生の選考を行ない、第1回理事会（5月30日開催）で助成対象者5名を決定した。その後、7月8日に日本工業倶楽部で、音楽分野の選考委員に加えて来賓として文化庁参事官（芸術文化担当）等を招き、海外音楽研修生を対象とした助成金目録贈呈式を開催した。また、海外音楽研修生に演奏機会を提供する取組みとして、明治安田ホール丸の内等で演奏会を合計5回開催した

地域の伝統文化分野においては、2023年度第3回理事会（3月5日開催）で決定した助成先61団体について、出捐元である明治安田生命保険相互会社の最寄りの支社に「助成金目録贈呈式」の開催を依頼し、58団体について5月から8月にかけて実施した。開催開場は昨年度に引き続き、地元の市町村庁舎等で開催することを優先し、その結果多くの地方紙や地元テレビ局によって贈呈式の開催状況が報道されることとなった。

主務官庁である内閣府への届け出等については、6月21日付で2023年度事業報告等、7月16日付で評議員及び監事の変更、さらに2025年度の事業計画書等を2025年3月17日付で提出した。

業務運営面では、元本毀損リスクのある資産運用に関して、毎月「財産運用モニタリング会議」を開催し、リスク管理態勢の高度化に努めている。また、出捐元である明治安田生命保険相互会社関連部との情報共有を目的に、9月25日に不動産部長陪席のもと、3月14日には株式投資部長陪席のもと「財産運用会議」を開催した。

I. 事業の状況

1. 音楽分野への助成

若手音楽家の人材育成に対する助成として、次の助成事業を実施した。

- ・海外における音楽研修に対する留学費助成
- ・国内音楽学生に対する奨学金助成
- ・日本音楽コンクールに対する助成
- ・若手音楽家に対する演奏機会の提供

(1) 海外における音楽研修に対する留学費助成

ア. 助成趣旨

わが国のクラシック音楽文化向上のため、国際的音楽家をめざして研鑽中の若手音楽家に対して、海外特に欧米に留学することにより技術を錬磨するとともにその実体験を通じてさらに音楽家として成長することを期待して、留学に必要な費用を支援

イ. 助成金額

留学受入先の入学決定を条件に年額200万円（最長2年間）を助成

ウ. 公募関係

① 公募期間

2024年1月4日（木）～4月5日（金）

② 告知の方法

音楽専門大学あて案内（32校）

演奏家団体あて案内（53団体）

音楽指導者あて案内（310名）

「音楽の友」等音楽専門誌・その他マスコミあてニュースリリース送付
財団ホームページへの掲載

③ 応募数

2024年応募数			2023年応募数		
48名			64名		
内 訳	声楽	11名	内 訳	声楽	13名
	ピアノ	18名		ピアノ	23名
	弦楽器	6名		弦楽器	20名
	管楽器	12名		管楽器	7名
	打楽器	1名		打楽器	1名

④ 応募者の情報入手経路の割合（複数回答を含む）

申込経路	2024	2023
過去応募者	16.1%	16.5%
学内掲示	12.9%	16.5%
知人・友人	14.5%	8.9%
指導者等	11.3%	6.3%
音楽誌等	0.0%	0.0%
インターネット	45.2%	51.9%

エ. 選考経過

- ・ 1次選考委員会を4月19日に東京オペラシティ小リハーサル室で開催し、応募書類および映像資料審査の結果、1次通過者として16名を選考
- ・ 2次選考委員会を5月24日に東京オペラシティリサイタルホールで開催し、実技および面接審査の結果、5名の助成対象候補者を選考
- ・ 5月30日開催の2024年度第1回理事会で助成対象者を承認

【2024年度助成対象者5名 助成決定額1,800万円（敬称略）】

氏名	専攻	助成期間	留学（志望）先
最終学歴			
熊木 夕茉	声楽（ソプラノ）	2年	パ°ルマ音楽院 (イタリア・パ°ルマ)
2023.3 京都市立芸術大学修士課程修了			
鈴木 優輔	ピ°アノ	2年	パ°リ地方音楽院演奏家課程 (フランス・パ°リ)
2024.10～パ°リ地方音楽院演奏家課程在学中			
森田 啓介	チェロ	2年	リュ°ベ°ック音楽大学 (ドイツ・リュ°ベ°ック)
2024.10～リュ°ベ°ック音楽大学国家演奏家資格課程在籍			
三星 美優	クラリネット	2年	パ°リ地方音楽院 (フランス・パ°リ)
2023.4～ 東京藝術大学在学中			
吉川 隼介	オーボエ	1年	エコ°ル°ルマル音楽院 (フランス・パ°リ)
2023.9～ エコ°ル°ルマル音楽院在学中			

オ. 2024年度助成実行状況

- ・ 海外研修に対する留学費用助成の対象者5名への助成金目録贈呈式を、予定どおり7月8日に日本工業倶楽部で開催
- ・ なお、助成金は助成目的事由が確定（海外留学先教育機関入学許可証または在学証明書を提出）した後に支給

【海外音楽研修生に対する2024年度助成実行状況】

助成決定年度	助成実行		未払額	
	人数	金額	人数	金額
2022年度	2名	200万円	0名	0万円
2023年度	5名	600万円	3名	400万円
2024年度	4名	500万円	5名	1,300万円
合計	11名	1,300万円	8名	1,700万円

(2) 国内音楽学生に対する奨学金助成

ア. 助成趣旨

わが国のクラシック音楽文化向上のため、将来の専門家をめざして勉学中の国内音楽学生に対して奨学金を支給

イ. 助成金額

指定13校から各1名（原則3年次以上）に対し年額30万円の奨学金助成（最長2年間）を実施

ウ. 推薦受付

- ・2024年1月9日、指定13校に対し助成対象候補者の推薦を依頼
- ・5月10日に受付を締め切り、指定13校からの推薦13名を受付け

エ. 選考経過

- ・5月24日開催の選考委員会において、国内音楽学生奨学金の助成対象候補者として13名を選考
- ・5月30日開催の2024年度第1回理事会で助成対象者を承認

【2024年度助成対象者13名 助成決定額660万円】（敬称略）

氏名	在籍大学（推薦校）	学年	専攻
●● ●●	東京藝術大学音楽学部	4年	フアゴット
●● ●●	愛知県立芸術大学音楽学部	3年	チェロ
●● ●●	京都市立芸術大学音楽学部	3年	ピアノ
●● ●●	沖縄県立芸術大学音楽学部	4年	音楽学
●● ●●	武蔵野音楽大学音楽学部	4年	ピアノ
●● ●●	国立音楽大学音楽学部	3年	チューバ
●● ●●	桐朋学園大学音楽学部	3年	ピアノ
●● ●●	東京音楽大学音楽学部	3年	作曲
●● ●●	昭和音楽大学音楽学部	3年	フルート
●● ●●	洗足学園音楽大学	3年	作曲
●● ●●	大阪音楽大学音楽学部	3年	ピアノ
●● ●●	エリザベト音楽大学音楽学部	3年	声楽
●● ●●	北海道教育大学岩見沢校芸術・スポーツ文化学科	4年	声楽

オ. 2024年度助成実行状況

指定13校から推薦された3年次以上の学生各1名を助成対象者とし、
年額30万円（上期、下期各15万円）を支給

【国内音楽奨学生に対する2024年度助成実行状況】

助成決定年度	助成実行		未払額	
	人数	金額	人数	金額
2023年度	7名	210万円	0名	0万円
2024年度	13名	390万円	9名	270万円
合計	20名	600万円	9名	270万円

- (3) 日本音楽コンクール（主催：毎日新聞社／日本放送協会）に対する助成
11月20日の表彰式において、作曲部門最優秀者へ「明治安田賞」50万円を贈呈した。

＜第93回日本音楽コンクール作曲部門（オーケストラ作品）結果＞

本選会：11月7日 3作品（応募31作品）於：東京ホラシティコンサートホール
最優秀者：第1位 松本 淳一氏

- (4) 若手音楽家に対する演奏機会の提供（6名5回開催：敬称略）

7月7日 小川恭子（2019海外音楽研修生,ヴァイオリン） 於：明治安田ホール丸の内
秋元孝介（2019海外音楽研修生,ピアノ）

10月20日 横山瑠佳（2020海外音楽研修生,ピアノ） 於：明治安田ホール丸の内

12月14日 塩崎基央（2023国内音楽奨学生,ピアノ） 於：明治安田グイレッジアトリウム

12月22日 坪井夏美（2017海外音楽研修生,ヴァイオリン） 於：明治安田ホール丸の内
永井基慎（2011海外音楽研修生,ピアノ）

3月9日 小川恭子（2019海外音楽研修生,ヴァイオリン） 於：明治安田ホール福岡
秋元孝介（2019海外音楽研修生,ピアノ）

2. 地域の伝統文化分野への助成

地域の伝統文化の保存維持および後継者育成に対する助成として、次の助成事業を実施した。

ア. 助成趣旨

古来、地域に伝承されてきた民族固有の伝統的な文化である地域の民俗芸能・民俗技術等を正しく後世に残すため、その継承活動、特に後継者育成に必要な諸活動費に対する支援を実施

イ. 助成対象

- ・地域の民俗芸能（民俗行事・民俗音楽を含む）の継承、後継者育成のための助成
- ・地域の民俗技術（伝統的製作技術・衣食住に関わる生活技術・伝統工芸を含む）の継承、後継者育成のための助成

ウ. 助成金額

地域の民俗芸能への助成は70万円、地域の民俗技術への助成は40万円を限度として助成を実施

エ. 公募関係

① 公募時期

2023年10月2日～2024年1月31日

② 告知の方法

都道府県の知事部局および教育委員会の文化担当課ならびに県立の博物館等に申込要領を送付し、応募者の推薦を依頼。加えて、地方紙を中心としたマスコミあてにニュースリリースを発送

③ 応募数

年度	区分	件数	申込都道府県数
2024年度	民俗芸能	139件	40
	民俗技術	6件	4
	合計	145件	延べ40
2023年度	民俗芸能	84件	30
	民俗技術	1件	1
	合計	85件	延べ30

オ. 選考経過

- ・2024年2月21日開催の選考委員会において、書類審査により助成対象候補61件を選考
- ・2024年3月5日開催の2023年度第3回理事会において、助成対象候補を承認

年度	区分	件数	助成金額
2024年度	民俗芸能	57件	2,061万円
	民俗技術	4件	139万円
	合計	61件	2,200万円
2023年度	民俗芸能	47件	2,075万円
	民俗技術	1件	25万円
	合計	48件	2,100万円

カ. 2024年度助成実行状況

- ・4月初旬、出捐元である明治安田生命保険相互会社の最寄りの支社に「助成金目録贈呈式」の開催を依頼
- ・5～8月にかけて、第一推薦者である市町村の庁舎等もしくは明治安田生命保険相互会社の最寄り支社において、都道府県推薦窓口の方も招き助成金目録贈呈式を実施。なお、助成金は助成金目録の贈呈後に助成対象先の希望月に支給

キ. 助成対象一覧

【2024年度助成対象一覧（民俗芸能の部）】

(単位：万円)

都道府県	助成対象（団体等）	伝承行事・芸能の名称	助成額
北海道	望来獅子舞保存会	望来獅子舞	60
青森県	小川原神楽連中保存会	小川原の神楽	50
青森県	牛滝若者組	牛滝神楽	50
岩手県	向川原虎舞	向川原虎舞	20
岩手県	浪板大神楽保存会	浪板大神楽	40
宮城県	北上町女川法印神楽保存会	北上町女川法印神楽	50
秋田県	新町若者会	花輪ねぶた	35
山形県	山五十川古典芸能保存会	山戸能・山五十川歌舞伎	50
福島県	涼ヶ岡八幡神社神楽保存会	涼ヶ岡八幡神社の神楽	40
福島県	福田十二神楽保存会	相馬福田の十二神楽	40
福島県	八雲神社	浜通りの御浜下り	18
茨城県	小幡ひよつとこ囃子保存会	小幡ひよつとこ囃子	50
栃木県	関谷子供囃子保存会	関谷囃子	35
群馬県	千代田八木節保存会	八木節	12
埼玉県	西大輪獅子舞保存会	西大輪の獅子舞	40
千葉県	都町諏訪神社囃子会	諏訪神社の囃子	40
東京都	鈴木ばやし保存会	鈴木ばやし	37
神奈川県	若葉台囃子連	川尻八幡宮祭囃子	40
福井県	宇波西神社神事芸能保存会	宇波西神社の神事芸能	50
長野県	伺去神楽保存会	伺去神楽	30
長野県	瀬原田太々神楽保存会	瀬原田太々神楽	20
長野県	川中島町四ツ屋区中島神楽保存会	中島神楽	25
岐阜県	白山比咩神社獅子舞保存会	下手向の獅子芝居	18
愛知県	関川一町内会	宮道天神社例大祭	40
愛知県	馬場区祭礼保存協議会	長尾地区祭礼の長北車奉納	30
三重県	津市分部町唐人踊保存会	分部町の唐人踊	40
三重県	鹿海町自治会	鹿海町の河崎音頭	40
滋賀県	第16区自治会	近江八幡の火まつり(松明祭り)	40
京都府	千本ゑんま堂大念佛狂言保存会	千本ゑんま堂大念佛狂言	40
京都府	初土俵入保存会	赤ちゃん初土俵入	40
大阪府	太町町内会	聖神社秋祭り(太町だんじり)	30
大阪府	羽曳野市誉田西之口町会	誉田八幡宮秋祭り(だんじり)	30
大阪府	自然田第三自治会 東組	波太神社祭礼(太鼓台)	11

大阪府	福町中地車会	盆踊りの太鼓台	30
大阪府	中庄地車保存会	奈加美神社秋祭り(だんじり)	30
大阪府	小塩町自治会	烏帽子形八幡神社秋祭り(だんじり)	30
大阪府	東西片添町秋祭運営委員会	東西片添町秋祭り(だんじり)	8
大阪府	阿間河滝町会	意賀美神社祭礼(だんじり)	30
大阪府	上町町会	岸和田だんじり祭	30
大阪府	西大路町会	岸和田だんじり祭	30
兵庫県	法花寺万歳保存会	法花寺万歳	10
島根県	小森神楽保存会	小森神楽	24
岡山県	中田上之町魁組神楽保存会	建部郷の獅子舞	45
広島県	阿刀神楽団	阿刀神楽	30
山口県	滝坂神楽舞保存会	滝坂神楽	25
徳島県	阿波木偶箱まわし保存会	阿波木偶の箱廻し	70
香川県	東かがわだんじり子供歌舞伎保存会	ダンジリ子供歌舞伎	40
愛媛県	赤網代牛鬼保存会(酔牛鬼会)	赤網代の牛鬼巡行	45
高知県	三島神社	三島神社のおなばれ	40
福岡県	木屋瀬宿場踊振興保存会	木屋瀬盆踊(宿場踊)	38
福岡県	楠原踊保存会	楠原踊(みのり踊)	40
佐賀県	江福綾竹鉦浮立保存会	江福綾竹浮立	40
長崎県	特定非営利活動法人 長崎流鏝馬保存会	長崎くんちの流鏝馬神事	50
熊本県	栖本町郷土芸能保存会	栖本太鼓踊り	45
宮崎県	六日町ヨイマカ保存会	六日町ヨイマカ	30
鹿児島県	高城町太鼓踊り保存会	高城町太鼓踊り	40
沖縄県	沖縄県豊見城市字高安自治会	龕ゴウ祭	70
合計：57件 2,061万円			

【2024年度助成対象一覧(民俗技術の部)】

(単位：万円)

都道府県	助成対象(団体等)	民俗技術の名称	助成額
岐阜県	有道しゃくし保存会	有道しゃくし	25
岐阜県	川上 舟晴氏	高山の樽へぎ技術	40
滋賀県	荒井 恵梨子氏	小原かごの生産技術	34
兵庫県	<柳>自分堂	豊岡杞柳細工	40
合計：4件 139万円			

3. 機関誌の発行

- ・音楽分野『いい人・いい音』2025年1月発行(1,300部)
- ・伝統文化分野『地域の伝統文化』2024年10月発行(3,000部)

【参考】年度別 助成申込件数、助成対象決定件数、助成金額

(金額単位：万円)

年度	分野	音楽分野					伝統文化分野			金額計
		日本音楽 コンクール	海外音楽 コンクール	海外音楽 研修生	音楽学生 奨学金	音楽 計	民俗芸能	民俗技術	伝統文化 計	
1991～ 2010	申込	20	265	1,789	200	2,274	2,527	171	2,698	118,070
	決定	20	40	112	200	372	736	89	825	
	金額	7,000	3,770	45,880	15,630	72,280	42,436	3,354	45,790	
2011	申込	1	—	81	10	92	172	3	175	4,440
	決定	1	—	6	10	17	41	1	42	
	金額	50	—	2,000	540	2,590	1,814	36	1,850	
2012	申込	1	—	77	11	89	187	7	194	4,557
	決定	1	—	4	11	16	48	6	54	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	2,122	185	2,307	
2013	申込	1	—	81	11	93	160	8	168	4,040
	決定	1	—	5	11	17	40	2	42	
	金額	50	—	1,600	540	2,190	1,775	75	1,850	
2014	申込	1	—	87	11	99	171	5	176	4,120
	決定	1	—	6	11	18	41	3	44	
	金額	50	—	1,600	570	2,220	1,802	98	1,900	
2015	申込	1	—	80	11	92	155	9	164	4,500
	決定	1	—	6	11	18	40	4	44	
	金額	50	—	2,000	600	2,650	1,746	104	1,850	
2016	申込	1	—	67	11	79	137	3	140	4,270
	決定	1	—	5	11	17	41	2	43	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,800	50	1,850	
2017	申込	1	—	56	11	68	134	6	140	4,130
	決定	1	—	4	11	16	42	1	43	
	金額	50	—	1,600	630	2,280	1,811	39	1,850	
2018	申込	1	—	61	11	73	136	6	142	4,100
	決定	1	—	5	11	17	41	2	43	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	1,775	75	1,850	
2019	申込	1	—	64	11	76	118	8	126	4,100
	決定	1	—	4	11	16	39	3	42	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	1,736	114	1,850	
2020	申込	1	—	58	11	70	133	5	138	4,160
	決定	1	—	6	11	18	39	3	42	
	金額	50	—	1,600	660	2,310	1,740	110	1,850	
2021	申込	1	—	67	11	79	78	1	79	4,160
	決定	1	—	5	11	17	42	1	43	
	金額	50	—	1,600	660	2,310	1,813	37	1,850	
2022	申込	1	—	38	11	50	73	4	77	4,210
	決定	1	—	5	11	17	43	2	45	
	金額	50	—	1,600	660	2,310	1,820	80	1,900	
2023	申込	1	—	64	11	76	84	1	85	4,320
	決定	2	—	5	11	18	47	1	48	
	金額	50	—	1,600	570	2,220	2,075	25	2,100	
2024	申込	1	—	48	13	62	139	6	145	4,710
	決定	1	—	5	13	19	57	4	61	
	金額	50	—	1,800	660	2,510	2,061	139	2,200	
累計	申込	34	265	2,718	355	3,372	4,404	243	4,647	177,887
	決定	35	40	183	355	613	1,337	124	1,461	
	金額	7,700	3,770	69,480	24,090	105,040	68,326	4,521	72,847	

II. 庶務の概要

1. 役員等に関する事項

2025年3月31日現在

役名	氏名		担当職務	就任年月日	備考
理事	関口 憲一	明治安田生命保険(相)名誉顧問	理事長(非常勤)	2024/6/14	2014/6/10
理事	三浦 達也	当財団事務局長	専務理事(常勤)	同	2024/6/14
理事	植田 克己	ピアニスト・東京藝術大学名誉教授	非常勤	同	2023/6/19
理事	末廣 博	TPR株式会社社会長兼CEO	同	同	2024/6/14
理事	竹内 彰雄	片倉工業株式会社元会長	同	同	2016/6/14
理事	多田羅迪夫	声楽家・東京藝術大学名誉教授	同	同	2024/6/14
理事	田中 宣一	成城大学名誉教授	同	同	2024/6/14
理事	深澤 正宏	安田不動産株式会社相談役	同	同	2009/3/10
理事	星野 紘	全日本郷土芸能協会理事長	同	同	2009/6/ 4
理事	醤油 和男	当財団元専務理事	常勤	同	2016/6/14
監事	津吹 茂	パナソニック電気株式会社元常勤監査役	非常勤	2024/6/14	2020/6/17
監事	松田 裕之	明治安田生命保険(相)関連事業部長	同	同	2024/6/14
評議員	朝岡 康二	沖縄県立芸術大学元学長	—	2024/6/14	2008/3/10
評議員	梅津時比古	毎日新聞特別編集委員	—	同	2023/6/19
評議員	鈴木 伸弥	明治安田生命保険(相)特別顧問	—	同	2014/6/10
評議員	田中 宏	株式会社クレハ名誉顧問	—	同	2014/6/10
評議員	徳岡 浩	株式会社 BeeX 取締役	—	同	2024/6/14
評議員	中野 武夫	株式会社みずほフィナンシャルグループ 顧問	—	同	2024/6/14
評議員	根津 嘉澄	東武鉄道株式会社代表取締役会長	—	同	2010/6/ 3
評議員	松尾 憲治	明治安田生命保険(相)名誉顧問	—	同	2014/6/10
評議員	安田 守	安田不動産株式会社代表取締役社長	—	同	2022/6/ 6
評議員	吉田 大輔	一般財団法人教職員生涯福祉財団理事長	—	同	2024/6/14

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日

2. 選考委員に関する事項

(1) 音楽分野

2025年3月31日現在

役名	氏名		就任年月日	備考
選考委員長	植田 克己	ピアニスト・東京藝術大学名誉教授	2022/4/ 1	2000/04/01
選考委員	白石 美雪	音楽評論家・武蔵野美術大学教授	2022/5/10	2022/05/10
選考委員	多田羅迪夫	声楽家・東京藝術大学名誉教授	2022/4/ 1	2007/04/01
選考委員	徳永 二男	ヴァイオリニスト・桐朋学園大学特命教授	同	1991/06/23
選考委員	沼野 雄司	桐朋学園大学・大学院教授	同	2019/04/01
選考委員	山本 正治	東京藝術大学名誉教授・武蔵野音楽大学特任教授	同	2021/03/10
選考委員	山内 彰	当財団元理事	同	2022/04/01

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日

(2) 伝統文化分野

2025年3月31日現在

役名	氏名		就任年月日	備考
選考委員長	星野 紘	全日本郷土芸能協会理事長	2022/4/1	2014/04/01
選考委員	神野 善治	武蔵野美術大学名誉教授	同	2021/03/10
選考委員	齊藤 裕嗣	國學院大學兼任講師	2023/4/1	2023/04/01
選考委員	田中 宣一	成城大学名誉教授	2022/4/1	1991/06/23
選考委員	茂木 栄	國學院大學名誉教授	2023/4/1	2023/04/01
選考委員	山内 彰	当財団元理事	2022/4/1	2022/04/01

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日

3. 職員に関する事項

2025年3月31日現在

役名	氏名	担当職務	就任年月日	備考
専務理事・事務局長	三浦 達也	総括・企画・総務等	2024/4/01	明治安田生命より出向
理事	醤油 和男	対外諸活動、経理監視	2016/6/14	
事務局次長	千田 伸也	リスク管理・コンプライアンス	2021/4/01	明治安田生命より出向
係長	金子 悦子	会計・総務	2007/1/01	

4. 会議等開催に関する事項

(1) 理事会

開催日	出席等	議事事項	会議の結果
2024年 5月30日	決議に必要な出席 理事の数6名 出席：7名 欠席：3名 監事出席：2名	・2023年度事業報告及び附属明細書承認の件	原案どおり可決
		・2023年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書承認の件	同上
2024年 6月14日	決議に必要な出席 理事の数6名 出席：9名 欠席：1名 監事出席：2名	・2024年度音楽分野助成対象者承認の件	同上
		・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等承認の件	同上
		・報告事項（職務執行状況報告）	—
2024年 6月14日	決議に必要な出席 理事の数6名 出席：9名 欠席：1名 監事出席：2名	・理事長（代表理事）選定の件	原案どおり可決
		・専務理事（業務執行理事）選定の件	同上
		・常勤理事の定例報酬月額決定の件	同上

2025年 3月6日	決議に必要な出席 理事の数6名 出席：9名 欠席：1名 監事出席：2名	・2025年度事業計画及び収 支予算等承認の件 ・2025年度地域の伝統文化 分野助成対象承認の件 ・職務執行状況報告	原案どおり可決 同上 —
---------------	---	---	----------------------------

(2) 評議員会

開催日	出席等	議事事項	会議の結果
2024年 6月14日	決議に必要な出席 評議員の数6名 出席：8名 欠席：2名 監事出席：2名	・2023年度事業報告及び附 属明細書承認の件 ・2023年度計算書類（貸借対 照表及び正味財産増減計算書） 及び附属明細書承認の件 ・理事全員任期満了に伴う選任 の件 ・監事全員任期満了に伴う選任 の件 ・評議員全員任期満了に伴う選 任の件 ・報告事項（職務執行状況報告）	原案どおり可決 同上 同上 同上 —

(3) 選考委員会

ア. 音楽分野

開催日	内 容
2024年 4月19日	・2024年度申込者の第1次選考委員会（書類および映像 資料審査）を東京オペラシティ小リハーサル室にて実施 ・第1次審査通過者として19名を選考
2024年 5月24日	・第2次選考委員会（実技および面接審査）を東京オペラシテ ィリサイタルホールで実施 ・2024年度海外研修助成対象候補者として5名を選考 ・指定13音楽大学から推薦された13名を2024年度国内 音楽学生奨学金受給対象候補者として承認
2024年 10月2日	・2025年度公募方針ならびに申込要領を明治安田生命保険 相互会社本社会議室にて検討し決定

イ. 伝統文化分野

開催日	内 容
2024年 8月20日	・2025年度公募方針ならびに申込要領を明治安田生命保険相互会社本社会議室にて検討し決定
2025年 2月20日	・2025年度申込の選考委員会（書類および写真審査）を明治安田生命保険相互会社本社会議室にて実施し、助成対象候補先として、民俗芸能52件、民俗技術5件、合計57件を選考

(4) 監事および会計事務所による監査

開催日	内 容
2024年 4月24日	・津吹監事、石橋監事による2023年度決算監査を実施
2024年 11月8日	・今年度から顧問契約を締結した「税理士法人みなとアドバイザーズ」による中間決算に係る決算書その他帳簿書類等の点検を実施
2024年 11月22日	・津吹監事、飯塚（松田）監事による2024年度中間監査を実施

5. 主務官庁に関する事項

- ・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定に基づき、2023年度事業報告等について、2024年6月21日付で内閣府へ提出した。
- ・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定に基づき、事業内容、評議員及び理事の変更について、2024年7月16日付で内閣府へ提出した。
- ・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定に基づき、2025年度事業計画等について、2025年3月17日付で内閣府へ提出した。

6. 契約に関する事項

決算書その他帳簿書類等の適正性を担保するため、2024年8月1日付で「税理士法人みなとアドバイザーズ」と会計業務に関する顧問契約を締結した。

7. 寄付金に関する事項

寄付者	申込金額	領収金額	受領日
明治安田生命保険 相互会社	3,500万円	3,500万円	2024年 4月18日

8. リスク管理およびコンプライアンスに関する事項

(1) コンプライアンス違反懸念、情報漏洩懸念、事務・システムリスク等、苦情に関する発生状況、対応状況等

項目	発生件数	対前年度増減	備考(傾向と対策)
コンプライアンス違反懸念	0件	—	—
情報漏洩懸念	0件	—	—
事務・システムリスク等	0件	—	—
うち重大事務リスク該当 件数	0件	—	—
苦情・相談	0件	—	—

(2) 主務官庁等の外部監査結果とその指摘事項に関する改善状況

監査の名称(監査実施年度)	改善状況
—	—

(3) 規程・方針等の整備状況

ア. コンプライアンス関連

2024年度「コンプライアンス取組計画」に対する評価を実施し、特段の問題はないことを確認(2025年3月)

イ. リスク管理関連

2024年度「リスク管理の重点実施事項」に対する取組みを検証し、新たに認識した課題はないことを確認(2025年3月)

ウ. 制定、改正した規程等

「コンプライアンス違反等管理・報告ルール」改正(2024年8月)

エ. 制定、改正した手順・解説書等

- ・「情報システム利用マニュアル」改正(2024年7月)

- ・「コンプライアンス・マニュアル」改正(2024年7月)

- ・「サイバーセキュリティインシデント対応手順・解説書」改正(2024年7月)

9. 反社会的勢力への対応状況

(1) 一般契約書への反社条項導入状況

有効契約数	反社条項導入要契約	反社条項導入完了契約	完了率
8	8	8	100%

・反社条項とは、外部委託契約等において、締結先が反社会的勢力との関係を持たないことを確認する契約条項

(2) 反社情報の明治安田生命への連携状況

該当なし

(3) 新規取引先の属性点検実施状況（2024年4月1日～2025年3月31日）

	全取引先数			点検 必須 項目数	必須項目属性点検照会件数			点検 結果
	件	うち 上場企業・ 関連会社等	うち 個人契約		件	うち 代表者名	うち 個人契約	
外部委託契約 締結先	0	0	0	0	0	0	0	
一般契約 締結先	0	0	0	0	0	0	0	懸念先 なし
助成先等 (注)	235	—	—	235	235	174	61	懸念先 なし

(注) 助成先等：2025年度地域の伝統文化助成申込先、2024年度海外音楽研修費用助成申込者および国内音楽学生奨学金助成者

(4) 既取引先の属性点検実施状況（2024年4月1日～2025年3月31日）

	全取引先数			点検 必須 項目数	必須項目属性点検照会件数			点検 結果
	件	うち 上場企業・ 関連会社等	うち 個人契約		件	うち 代表者名	うち 個人契約	
特定外部委託 契約締結先 (注1)	3	3	0	0	0	0	0	
その他外部委託・ 一般契約締結先 (注2)	5	1	0	5	5	5	0	懸念先 なし
既存助成者 (注3)	8	—	—	8	8	0	8	懸念先 なし

(注1) 特定外部委託：明治安田生命および明治安田グループ会社との委託契約

- ・明治安田生命保険相互会社
- ・明治安田システム・テクノロジー株式会社
- ・明治安田オフィスパートナーズ株式会社

(注2) その他外部委託・一般契約：

- ・毎日新聞社（日本音楽コンクール賞金寄託覚書）
- ・キャノンマーケティングジャパン社（キャノビ[®] - 機メンテナンス契約）
- ・カネテツ（産業廃棄物処理委託契約）

- ・小湊（産業廃棄物処理委託契約）
- ・新宿センタービル管理会社（清掃業務委託契約）

（注3）既存助成者：

- ・2023年度以前に助成決定し2024年度に助成金を支給する海外音楽研修生および国内音楽奨学生

10. 2024年度の重要リスクの特定

重要リスク	具体的取組事項	モニタリング手法
1. 資産運用環境の大幅悪化	・元本毀損リスクのある上場 REIT の相場の注視と「モニタリング会議」の実効性向上	・「モニタリング会議」「財産運用会議」を通じたモニタリングおよび出捐元との連携
2. ICT・DXの進展による事業環境変化への対応不十分	・「紙」に依存した公募方法からクラウド等を中核とした対外的な情報入手等の移行可能性の研究	・システムを担う関連会社と連携した調査・研究
3. サイバーインシデント等による重大なシステム障害の発生	・訓練や演習を通じた「サイバーセキュリティインシデント手順・解説書」の有効性確認	・サイバー攻撃に対する演習を通じた検証 ・標的型攻撃メールによる訓練を通じたルール遵守状況の把握
4. サステナビリティ経営に対する社会的要請への対応不十分	・助成事業の事業計画に則った持続可能な運営 ・助成対象者に対する継続フォロー等を通じた助成事業の検証	・助成事業に係る予実管理の徹底および助成対象者との継続的連携 ・「申込要領」の改正等、現状に則した事業展開
5. 大規模な自然災害やパンデミックの発生	・緊急時の出社訓練等による態勢の有効性確認 ・テレワーク態勢の施行	・「自衛消防隊訓練」を通じた対策の有効性確認 ・「経営チェックリスト」を活用した自己点検
6. 大規模な個人情報漏洩の発生	・内部管理自己点検に基づく検証態勢の構築 ・一斉廃棄(年2回)を活用したドキュメント管理	・「経営チェックリスト」を活用した自己点検 ・「点検・実査」を通じた対策の実効性確認

附属明細書

2024年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。